

令和4年度 筑西市行政評価に係る外部評価結果

＜評価の見方＞

【進捗状況】

- ・ 順調である（現状を継続してほしい）
- ・ 概ね順調である（改善の余地があるか検討してほしい）
- ・ 順調でない（事業を見直してほしい）

【来年度の方向性】

- ・ 拡充（事業内容を更に充実するもの）
- ・ 見直し（目的や規模を変えず、執行方法を工夫するもの）
- ・ 現行どおり
- ・ 縮小（規模を減らしたりするもの）
- ・ 休止・廃止・終了（一時中断するもの、当初の目的の達成や他の事業との統合により事業実施を終了するもの、事業が完了等で終了したもの）

【コメント欄】

外部評価委員から提出された意見書のうち、各事業に対するコメントを記載

重点プロジェクト1：魅力UPプロジェクト

事務事業名		観光資源開発事業			
		評価		コメント	
進捗状況		順調である	1	・ 道の駅（グランテラス筑西）の活用、ヒロサワシティとの連携強化、アルテリオ（美術館）の企画充実 ・ 様々な手段や媒体での情報収集、発信、コロナ禍の中でできる範囲でのイベントの開催、アクションプランの作成や具現化等に取り組んでいることで、観光資源開発と振興が進んでいると思う。 ・ 実施事業について、市民へのPRを強化されたい（事業内容を知らない市民が多いのではないか） ・ コロナ禍の影響を受けてきたが、本年度以降は回復を見込めるため、これまでの取り組みが生きてくるのではないかな。	
	○	概ね順調である	5		
		順調でない			
来年度の方向性		拡充	2.5	・ 観光協会の自立と企画性 ・ 観光資源の乏しい当市にとっては大変な事業です。現行どおり進めていただいて、入込観光客数を平成29、30年度当時まで伸ばしてください。 ・ コロナに留意しながら、今後とも情報発信を。 ・ 当該事業をさらに充実させるため、工夫した取組を期待する。外部からの来市人数が増えることも評価の1つだが、地域住民への働きかけ、PRも細かく行い、住民一人ひとりが外部の方へ情報発信源になれば素晴らしいと思う。 ・ 道の駅を地域の魅力発信の拠点としてさらなる活用を望む。サイクルツーリズムの推進として、鬼怒川サイクリングロードの活用を考えてはどうか。 ・ 若者の力を最大限に活かした取り組みを実施してほしい。大学も協力していきたい。	
		見直し	0.5		
	○	現行どおり	3		
		縮小			
		休止・廃止・終了			

重点プロジェクト2：安全・安心プロジェクト

事務事業名		玉戸・一本松線整備事業		
評価				コメント
進捗状況	○	順調である	3	・橋梁工事の予算化を早めに決めて頂きたい。令和6年度に開通できるのか疑問である。 ・資料7ページ 令和3年度の事業実績は分かるが、進捗状況が計画との比較で順調なのか判断が難しい。
	○	概ね順調である	3	
		順調でない		
来年度 の方向性	○	拡充	3	・交流人口の増、そして地域の活性化が見込まれる。 ・いくつかの課題が解決される道路なので、遅れることなく整備を進めて欲しい。 ・可能な限り、前倒しでの完成を希望する。
		見直し		
	○	現行どおり	3	
		縮小		
		休止・廃止・終了		

重点プロジェクト3：若者移住・定住プロジェクト

事務事業名		人口対策緊急プロジェクトに係る事業		
評価				コメント
進捗状況		順調である		・人口減少対策は筑西市において最も重要な課題である。事業が多すぎるので2～3事業にまとめてはどうか。 ・5事業とも今年度から本格化する印象をもった。 ・検討継続の事業が多いため順調とは言えない。 ・テレワーク拡充事業については慎重に検討されたい。
		概ね順調である	1	
	○	順調でない	5	
来年度 の方向性		拡充	1	・5階スライミング跡地の整備はもう少し議論が必要である。 ・出生数、婚姻数が全国的に低下している現実のもと、当市も例外ではない。「若者よ 筑西に」、「住んで最高！筑西。」を合言葉に。また予算が少ないのではないか。 ・働く場、環境が整ったまちづくりにシフトすべきと思う。企業立地促進事業を優先すべき。 ・人が喜ぶ、人が幸せになる事業を行うのは大変かと思うが、「住みやすい筑西」を目指して欲しい。 ・令和4年度には検討事項の方向性を決定する必要あり。 ・特に中心市街地活性化は、コロナ後を見据えて取り組むべき課題であり、積極的に推進することが求められる。
		見直し	1.5	
	○	現行どおり	3.5	
		縮小		
		休止・廃止・終了		

■重点プロジェクト4：人づくりプロジェクト

事務事業名		小中一貫教育推進事業		
評価				コメント
進捗状況	○	順調である	3	・児童数の減少を考えると小中一貫はこれからも進めるべき。 ・開校や統合に向け、準備が進められていると思う。 ・目標に向かって着実に準備が進んでいると見受けられる。
	○	概ね順調である	3	
		順調でない		
来年度 の方向性		拡充	2	・下館北中学校は令和5年に下館中学校へ統合されるが、河間小学校・中小学校・五所小学校の在り方も検討する必要がある。 ・明野五葉学園の完成（令和6年4月）が待ち遠しい。スクールバスの運行計画など難しい面もあると思うが、がんばって欲しい。他地区のモデルとして。 ・小中一貫校としての学びの連続性を保つべき。 ・初めてのことで色々な課題が出てくると思うが、慎重に検討し、質の高い教育ができるよう進めて欲しい。明野中学校区以外の中学校区で学校の在り方に関する検討を行う場合、色々な考えが出てくると思うが、丁寧に対応して欲しい。 ・学校の在り方に関する検討をさらに進めるため拡充となる。 ・統廃合は重要な課題であり、児童生徒にとっても社会性を学ぶためにも推進することを求める。
		見直し		
	○	現行どおり	4	
		縮小		
		休止・廃止・終了		

■重点プロジェクト5：未来への先駆けプロジェクト

事務事業名		公共施設適正管理事業		
評価				コメント
進捗状況		順調である	1	・これからの人口減少を考えると公共施設の在り方は重要課題である。 ・課題解決に向けて、年次計画に沿って進められていると思う。 ・成果指標が「次年度の予算の確保」というのが違和感がある。
	○	概ね順調である	4.5	
		順調でない	0.5	
来年度 の方向性		拡充	1	・下館地区の公民館の在り方も議論の余地あり。 ・作った時の喜び、処理・壊す苦しみがある。戦後97年昭和40年～の施設が多数あり、計画性をもって対処して欲しい。 ・公共施設の廃止や見直しは、住民理解が必須。 ・公共施設マネジメントのもと、進めて欲しい。 ・早急に解決すべき課題を解決するためのロードマップを作成し、そのロードマップの実行状況と進捗をチェックしていくべきではないか。 ・今解決しておかなければならない課題であり、スピード感をもって取り組むことを求める。
		見直し	2	
	○	現行どおり	3	
		縮小		
		休止・廃止・終了		